

地域に根ざす学校

福井市安居中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	20回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	84人
授業ボランティア（含：低ボラ）	0人
登下校支援ボランティア	24人
その他（校外での活動ボランティア）	27人

(3) 特色ある活動

テーマ	「心の教育の充実」
-----	-----------

① 地域に学ぶ職業講座 平成23年10月26日（水）、11月17日（木）・24日（木） 公民館の「職業学び講座」に1，2年生が参加

生徒たちは目標を持ち努力する事の大切さを学び、自分の将来について考えるきっかけになった。

10月26日（水）

1年生41名が、総合的な学習の時間に、JA福井「光合星」のハウス栽培所で、野菜栽培についての話を伺った後、収穫の体験をした。

11月17日（木）

企業経営者から職業の説明や働くことの意義、苦労話などを伺った。溶接の見学と塗装の体験をさせていただき、仕事の難しさを実感した。

11月24日（木）

地域の方々に来ていただき、小グループで、それぞれの職業に関するお話や働くことの喜びを伺った。



② 全校一斉ボランティア 平成23年10月25日（火）

併設校ならではの小中連携の取組の一つである。

小学校6年生と中学校2年生が中心となって計画した。

全児童・生徒約300名を11の縦割りグループに分け、地域の公民館、集会場、公園、通学路等を清掃したり、社会福祉施設では、お年寄りとの交流の時間を設け、レクレーションや会話を楽しんだりした。

また、地域の方へは、事前にボランティアの案内を配り、参加を呼びかけた。保護者や地域住民の協力も得ることができ、児童生徒と一緒に活動していただくことができた。



成果と課題

- ・それぞれの職業で活躍している方々の考えや技術にふれることで、目標を持ち努力することの大切さを学び、自分を振り返り、向上心を持つきっかけとなった。
- ・地域のゲストティーチャーとの交流を通して、地域のよさを見直す機会となった。
- ・小中併設校の良さが随所に見られ、中学校区教育の充実や小中連携を図ることができた。
- ・来年度から小学校と中学校が分離する。合同で行う行事や交流授業などを効果的に行うための方策を子どもの移動や機材の運搬など、安全面にも配慮しながら、十分に検討していく必要がある。